

此因島工場の働く私共は一度首を切られると、任子馴れ大お馴染深し此島を跡に
 富度もなく流浪の旅に出る所ならぬと云ふ他府縣の労働者よりも数倍辛く悲しい
 境遇に置かれてゐます。おまけに此頃の不景氣は益々私共の生活に不安と恐怖を増し
 一歩を歩むから御承知如く私共従業員一同は去る五月二十日價銀値上げの解雇争ひの
 増額等を會社の噴願した事ありませう。然るに會社は此私共の望みの僅かな要求を
 全部跳ね付け、刺へ暴虐にも百六名の労働者を敵首に尚時時休業を發表す
 る等實は傲慢極まる態度を採るに至つた。言ふ迄もなく私共は殊更な事を
 好む喧嘩を好む者ではありませぬが、會社の斯う修忌無導な行動を以て排戦し
 来る以上一歩の虫も五分の魂は有す。どうして黙する事が出来ませう。已むらく私
 共一同一致団結して今日自覚したる労働者の為の權利であり、資本家の暴虐に
 対する合法的な手段たる同盟罷工を以て對抗する事となつた事ありませう。
 是れから今日迄三十五日間、町の有志の方々の一方おりの御骨折もあつて、幾度か解
 決の曙光が見出されようとして来たが、態度毎に、會社の傲慢無礼な仕打り為

め、折角の御骨折も打壞され終つたのであります。併し私共は只後らう感情に囚はれ
 意地突く張りの喧嘩を永く續ける事は却つて双方不利益であり、且つ此因島の町民諸
 君も益々御心配、御迷惑を及ぼす事考へ、なるを能く知つて居ります故に一日も早く
 解決を付け、皆協同と歡喜と平和の晴々としたお顔を會いたいと、實は男として忍ぶ忍び
 たる程の譲歩をして調停者にお任せ致しませう。飽く迄會社は、強情不道の態度を
 改めず、下がり出れば出る程、ツケ上ると言ふ有様な事。之を見らる私共が真
 り互譲の精神を以て、町を平和、幸福の為め解決を望んで居るに及んで、會社は少しも町
 の上を考へず只自分の懐を痛めなければ、恥工か鑑へやうが野倒れやうが皆協同門戸
 を鎖して商賣が出来難くなるから一回お構ひなさいと言ふ非義不徳の根性であります。
 斯くの如きは實に此因島の平和を攪亂し、住民の幸福を破壊する者であると言われ
 ばなすませぬ。
 此れが私共は饑へたりと雲り高正義人道の觀念と、鞏固な團結の力を有して居ます。
 又私共の此正義の及ぶ前、會社を反省せむる事は、私共の利益のみならず、町全